

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年1月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103524
法人名	医療法人 起生会
事業所名	ハートフル 林 (4階)
所在地	鹿児島県鹿児島市西田三丁目15番5号 (電話) 099 - 257 - 6977
自己評価作成日	平成29年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年2月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

当ホームは鹿児島中央駅近くに位置し、交通や買物など利便性の良い場所にある。病院の跡地を利用した施設で2階と4階をグループホームとして利用しており、3階は系列法人の運営する有料老人ホーム、1階にはデイサービスがあり、相互に協力し、出来る限りの相談に対応させて頂いている。

また、母体が医療法人であり、医療機関との24時間医療連携体制が確保されている事で、ご利用者様及びご家族様に安心した生活を送って頂けるように支援している。医療法人は40周年を迎えた現在まで、地元に根ざした医療サービスを行っており、その方針の下で常に地域密着方サービスの意義を踏まえたサービスに取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点, 工夫点 (評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念である「優しい心と思いやり」「安心、安全の介護」を常に意識して、利用者と向き合いながら介護を実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域交流の一環として、西田地区で行われる行事（夏祭り、敬老会、消防訓練等）へ職員、利用者共に参加している。また、地域のボランティアの受け入れもしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	高校生の実習、ヘルパー講習生の実習等を受け入れている。運営推進会議でも認知症の理解を周知している。法人全体で認知症サポーター養成講座を受講して、認知症の理解や地域に発信出来る様にしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回運営推進会議を実施している。評価や現況でのサービス内容についての活動報告をし、改善等があれば現場で実施、サービス向上に繋げている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	長寿安心支援センター城西主催の連絡会で意見交換等を積極的に図っており、また、運営推進会議にて長寿安心支援センターの担当者から意見具申を頂いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	月1回同一法人内の身体拘束委員会に代表が参加して、全職員が身体拘束について再度理解、確認出来る様に努めている。また、各フロアにマニュアルがあり、やむを得ず身体拘束を行う場合はマニュアルで確認をしている。利用者の状態によっては解除したり、代替的手段はないか検討している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	月1回のミーティング等で虐待についての勉強会をしている。一人一人が自覚を持ち、声掛け等に気を付けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者の中には成年後見人制度を利用している方もいて理解は出来ている。また、必要性のある利用者には積極的に支援をしていく。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時の説明は丁寧に行っている。また、改定時には家族会及び運営推進会議で意見を図り、家族に周知して頂いている。また、疑問点等は丁寧に回答させて頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>家族会、運営推進会議、苦情・相談等の意見・要望は随時受け入れ、個別に対応して改善を図っている。その結果は絶えず報告を行っている。また、各会の議事録を各フロアに設置して情報提供を図っている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回、職員のミーティングを行って意見交換をし、その後職員から出た意見や提案を実施している。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の努力や実績は人事考課で評価する制度が確立している。それが、昇給、賞与に反映されている。自己啓発により資格取得すると手当等に反映されている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員間の和を大切にしながら研修に積極的に参加し、職員間の意識を高める様に努めている。キャリアに応じて法人内外の各種研修も受ける様にしている。また、資格取得も支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域交流会を年に4回行っている。意見交換や勉強会をして、互いの施設の質の向上に取り組んでいる。また、GH連絡協議会の研修等には積極的に参加して自己啓発を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者の願いや思いに気付ける様にしっかりと向き合う様に心掛けている。また、話しやすい対応、声掛け、表情にも気を付けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用者から聞き出せない要望や相談事を家族より聴取出来る様に実践している。家族が相談しやすい空間、雰囲気作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ケアプラン作成時、利用者、家族の方との話し合いを持ち、希望、要望等を聞き取り、今必要としているケアを提案し実施している。様子をみながら次のステップへ進める様にしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に生活をするという事を念頭に置き、目線を合わせ、家事等手伝って頂きながら、お互いに支えあう関係作りをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族にも介護に何らかの形で参加して頂く様にしている。職員と共に利用者を支えていく様に話をし、協力を得ている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人の方が訪問された際は、居室でゆっくり過ごせるように配慮している。知人の方にはお帰りの際にまたの訪問を依頼している。行事への参加の声掛けもしている。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士のコミュニケーションが上手くいく様に職員が間に入って会話や交流が出来る様にしている。利用者の関わりを把握する様に心掛けている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>同一法人内の病院に入院されている方の見舞いに行き、今までの関係が断ち切れない様にしている。いつでも気軽に遊びに来て頂いたり、相談に乗れる様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の思いや生活に対する意向を汲みとれる様に日頃から声掛けやコミュニケーションを大事にしている。夜勤等個々と向き合える時間を作る様にしている。家族からも意見を頂いている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にこれまでの生活暦については書類に書いて頂いている。入居後は家族の面会時等に利用者についての情報収集に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者の生活時間に合わせて生活して頂いている。利用者の現状については、職員間で情報交換を随時行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングにて、適切で統一したケアが出来ているか検討し、担当者会議でご本人、ご家族及び関係者の意見を反映しながら現状に即した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに基づいた介護記録を毎日行っている。申し送りや申し送りノートも活用している。利用者の軽微な変化も職員間で情報共有している。必要があればケアカンファレンスを行い、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療連携によるリハビリの送迎、精神科医による在宅訪問診療、訪問マッサージ、訪問介護の利用等、本人のニーズに対応して柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>西田文化協会主催行事（夏祭り、敬老会等）に参加、常盤町内会おはら祭り踊り連の訪問、介護実習等の外部からの受け入れを積極的に行い、利用者楽しんで頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>外科・歯科・皮膚科等は利用者のかかりつけ医による往診をお願いしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日バイタル、食事状況、睡眠状況、皮膚状態などの健康観察を行い、異常時は施設看護師や主治医等に相談し、早めの受診を行い、適切な対応を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>同法人の病院のSWと連携を取り、早期退院が出来る様に支援している。病院も近くにあるので、職員が面会に行き状態把握が出来ている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居の契約時や利用者の状態をみて家族から急変時や終末期の意向を聴取している。近くにある同法人の病院とも連携している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>病院と連携を図り、昼夜間わず全職員が対応出来る様に努めている。また、AEDの取り扱いについて講習を受けており、勉強会も定期的に行っている。緊急時は施設看護師が協力し対応出来る様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回避難訓練を行っている。そのうち1回は消防署の方にも参加して頂き意見等を頂いている。同じ建物内の協力体制は築けているが、地域には今後協力を得られる様にしていきたい。フロアに避難経路図は掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格の尊重に注意して対応している。排泄・更衣・入浴等は個室にて個別対応し、声掛けにも注意してケアをしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が職員に対して質問や希望を気軽に行って頂ける様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースやこだわりを尊重して支援している。無理強いはせずに本人らしく過ごして頂いている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	訪問美容に来て頂き定期的に髪のカットをしている。更衣時には利用者に着たい洋服を選んで頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節の野菜を取り入れて彩りの良い盛り付けに気を付けたり、大きさや軟らかさ等利用者の好みに合わせている。利用者には盛り付けや皮むき等を手伝って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量のチェックをしている。栄養士のアドバイスも受けながら、バランスのとれた食事が提供出来る様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアは行っている。本人のADLに応じて出来るところは自力でして頂く様になっている。義歯は毎日洗浄剤に浸けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者の排泄パターンでトイレの声掛けや誘導をしている。本人の希望やADLの状態をみてオムツを減らしたり、トイレで排泄が出来る様に支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者の便チェックを毎日行っている。水分摂取を促し、牛乳・オリゴ糖・ヨーグルト等の提供も行い、体操等の適度な運動をして頂ける様にしている。個々に応じた予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回入浴はして頂いている。入浴がきついという方に対しては清拭を行い、全更衣を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者のペースや体調に合わせて居室やベッドで休んで頂いている。室温・湿度をチェックし、寝具調整も行い、安眠が図れる様にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期的な病院受診で病院と連携し、薬の調整を行っている。職員が一人ひとりの薬を把握し、症状の変化があった際は、施設看護師に報告し速やかに対処している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理の盛り付けや食器洗い、洗濯物たたみ等を手伝って頂いたり、広いベランダ菜園で花や野菜の収穫をして喜んで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	近隣の散歩等いつでも行ける様にしている。四季折々の年間行事で外出や外食の機会が増える様に工夫している。家族にも外出の機会を作ってもらえる様に支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>買い物の日に職員に依頼したり、家族同行にて外出先でして頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話は家族といつでもやり取りが出来る様に支援し、手紙、贈り物等は直接本人に渡している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の壁画を利用者と作成し飾ったり、行事の活動写真を貼ったりして、季節を楽しんで頂ける様に工夫をしている。居心地良く過ごされる様に清潔に努め、日々の換気も行い、温度・湿度チェックも行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用空間（フロア）では利用者がゆっくり思い思い過ごして頂ける様にしている。庭に出て季節の草花を観賞する事も出来る。テーブルの席についても相性等を考慮して決めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の使い慣れた物を可能な限り持って来て頂いている。物の配置も利用者や家族の意向を汲み取り、自宅の様に居心地良く過ごして頂ける様に工夫している。これから取り組まなければならない居室もある。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>家での家事の様に洗濯物干しや洗濯物たたみ、食器洗い等の手伝いをして頂いている。フロア内ではトイレや洗面台等の表示を分かりやすくして、利用者にあった自立して頂ける様な環境作りをしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
		○	3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない